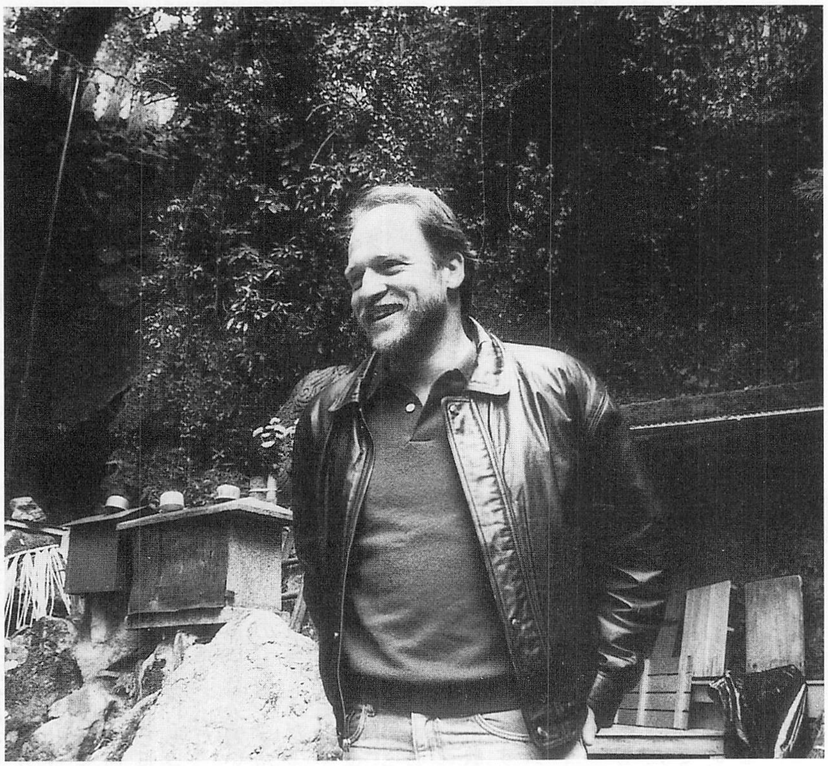
CHARLES ROCHE

チャールズ・ローシェさん

NY出身。ケーキでお馴染みPAPA Jon'sのオーナー。
新しくオープンしたFiascoも好調。
Fiasco 京都市上京区烏丸通り上立売下ル御所八幡町104-1
Tel 075・415・0989

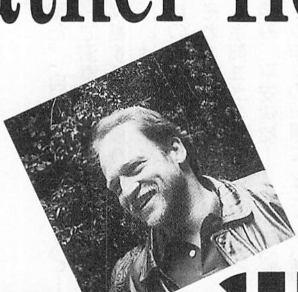


南禅寺

日本三大門のひとつにあげられる門がある南禅寺。石川五右衛門の「絶景かな〜」という言葉で有名な通り、上からの眺めは抜群だ。三門のほかにも桃山時代の襖絵や遠州の庭など見どころはたくさんある。中でも異彩を放っているのは疎水のアーチ、水路閣。赤レンガのその曲線は、まるで古代のローマの建造物である。

在日年数15年。チャールズさんは、PAPA Jon's、Fiascoとふたつの店を経営するビジネスマン。初めて彼が日本の地を踏んだのは今から24年も前のこと。そのころはまだ日本に住むなどという考えはなく、長期計画の世界一周旅行の途中に寄った国のひとつに過ぎなかったとか。当時の日本は万博の真っ只中。いろいろなものを見ると同時に友達もたくさん作った彼は、後に再来訪して漆塗り木工家具製作の技術を勉強する。その後、試行錯誤ののちに現在の人気ショップを築きあげた。そんなチャールズさんが「ホントは紹介したくないんだけどな」と笑うのは東山区の南禅寺。山を登ったところにとてもいい場所があるとのことなので、息をつぎながら後につづくと、現れたのははるか上から流れ落ちる滝。「夏はここで服を脱いで滝にあたるんです。とっても気持ちいいね」と、さすが自由なアメリカ人。やることが大胆だ。インテリアや空間デザインに興味があるという彼は、どんな内装であればひとがこころからリラックスできるのかを常に考えていて夜も眠れないくらいだそう。「私の店に来てくれたアメリカ人は、味も店内もとても懐かしい感じがすると言ってくれる。だから私の店には日本的なものは置いてないんです。でももし私がアメリカで店を出すならば、逆に店内はぜーんぶ日本のものでいっぱいにしちゃうだろうね。(笑)」。現在は新しい店の戦略をいろいろ練っているところだが、「アメリカだと味が気に入らないとハッキリ言う。辛いだとかコーヒーがぬるいとか、遠慮なし(笑)。でもこちらがそれで謝ると今度からまた来てくれますね。日本のひとはまずいと思ってもその場では何も言わない。そのかわりその店には2度と来ない。どちらがいいというんじゃなく、この違いが面白い」。高校生らしき集団が通ると、「私は彼らより日本での生活が長いんですよ」と笑う、ユーモアたっぷりの紳士でした。

Birds of a feather flock together.



Probably of all things I like ducks most of all. Little fluffy yellow ducks with orange beaks. I like them because they are cuddly and cute. The ducks in Japan are said to go pyoko-pyoko which is much nicer than cheep-cheep. But ducks don't really speak a language. But if they did I think they would say, "I am a duck, I will go forth and prosper as a duck."

●ワンポイント英語●

People don't use their eyes. They never see a bird, they only see a sparrow. They never see a tree, they see a birch. They see concepts. — Joyce Cary

人間は本当の"目"を用いない。鳥と見ずにツバメと見る。木と見ずに樺と見る。概念でしか物事をとらえないのだ。